

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2015年10月) 第60号

|  |                                |            |             |
|--|--------------------------------|------------|-------------|
| 活動日<br>2015年10月8日(木)<br>2015年10月28日(水) | 時間<br>9:30~12:00<br>9:30~12:00 | 天候<br>(晴れ) | 記録者<br>(菅田) |
|--|--------------------------------|------------|-------------|

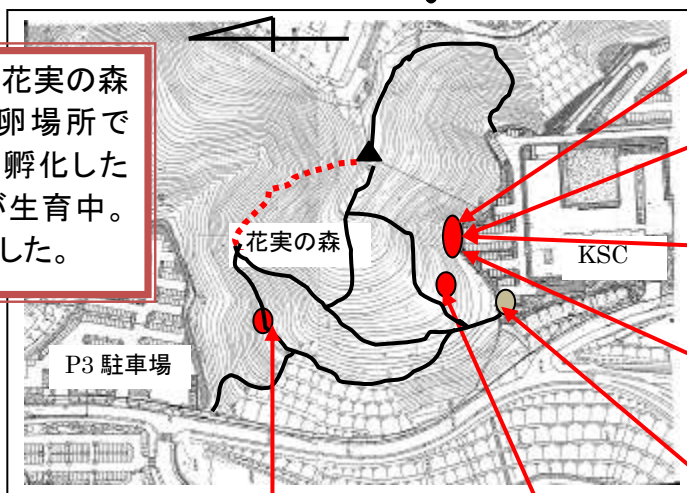
|                    |  |
|--------------------|--|
| 参加者氏名<br>(11名+16名) | 磯野彰夫 菅田忠志 小泉 宏 小林澄夫 塩ノ谷年子 俵貴志子 水島康夫<br>山田喜義 米倉 進 清水英暢 黒子兵吾 笹井俊司 松本治美 萩原一宏<br>丸井宣夫 吉田恵子 南木久枝 山下暁美 |
|--------------------|--|

( )コナラ間伐木伐倒 ( )間伐木ほだ木活用のための玉切り作業 ( )間伐木の小枝集め  
 (○)ため置きチップの移設 (○)既設散策道・作業道のササ刈り  
 ( )集積小枝のチップ掛け ( )新設作業道予定コースのササ刈り (○)ホダ木手入れ

今回実施した  
作業内容

作業の具体的な内容  
 (1) 花実の森最高点から北方向への新設予定コースの根ザサ刈り取り作業  
 (2) 昨年から寝かせていたシイタケホダ木の立て掛け作業の完了(前回降雨中断)  
 (3) カブトムシ飼育場所の状況把握  
 (a)2013年(初代)の飼育場所はチップ腐葉土が古く、今年の産卵はゼロ。産卵場所としては廃止し、腐食木置場に切り替えた。設置初年時は約100匹強の幼虫が育っていたところだったが、さなぎ前にイノシシ被害に遭い全滅したところ。その後金網設置を徹底。  
 (b)2014年春に設置したチップ腐葉土飼育場所は、今年の幼虫が数匹のみ生育していた。こども設置初年時は約100匹強の幼虫が育っていたところ。  
 (c)2014年春に設置した馬糞堆肥専用飼育場所には、今年の幼虫が10匹程度生育していた。上記(b)へ統合してここは撤去した。こども昨年の幼虫が約50匹の成虫に育ったところ。  
 (d)2015年春に新しいチップで新設した産卵場所には50匹前後が育っていた。やはりチップは新しいものに産卵することがわかる。こども上記(b)に統合させ、ここは撤去。  
 (e)倉庫前に貯めていた今年のチップ山には、50匹の3齢幼虫が育っていたので、ここから20匹を上記(e)の場所に、30匹を(f)の場所にチップと一緒に移し、倉庫前の仮置きチップを撤去した。  
 (f)2015年4月に行った「カブトムシ飼育親子観察会(1回目幼虫)」時に、子どもたちにチップを運んで作ってもらった産卵場所には、20匹程度の幼虫が育っていた。  
 (g)林内の「大池小学校カブトムシ分校」には1匹の3齢幼虫が居たのみ。腐葉土がほぼ無くなり、固い土になっていた状態から判断すると、やはりチップは毎年新しいものの補充が不可欠の様様。  
 (h)林内最奥に今年夏に設置したチップ置場には産卵の形跡なく幼虫はゼロ。設置の時期が少し遅かったためか?これもK/Hのひとつとする。

図のとおり、現在花実の森カブトムシの産卵場所ではこの夏~秋に孵化した130匹の幼虫が生育中。目標は200匹でした。



(a)2013年の初代飼育場所  
今回ゼロにつき腐食木置場に切り替え

(b)2014年の2代目飼育場所  
こども今年の産卵・孵化なし。  
(c)(d)(e)から移し70匹に。

(c) 2014年設置(馬糞堆肥専用)の飼育場所。この夏30匹ぐらいの成虫が育った場所だが1匹の幼虫が残ったのみ。今回上記(b)に統合し撤去。

(d) 2015年春設置の飼育場所  
今は50数匹の幼虫生育  
今回上記(b)に統合し撤去。

(g)大池小学校カブトムシ分校  
腐葉土はなくなり固い土に。  
1匹の幼虫を確認したが傷つけてしまった。現在0匹。

(f1) 親子観察会で作った産卵場所、28匹確認。倉庫前の幼虫約22匹移してきたので50匹に。(f2)3匹確認、下から7匹移動させ10匹に。

(e)倉庫前今年作り貯めのチップ  
約70匹の幼虫が育っていたので、50匹を上記(b)へ移動、20匹を上部(f)へ移動させ、こども撤去した。

写真記録



この冬に新規に整備予定の作業道の確認作業



前回途中で大雨となり中止していたホダ木の立て掛け作業を完了させる



今年の産卵・孵化状況を確認のため、生育場所の掘り起こしを実施。(1:下部の生育場所) 今年のチップの産卵場所のみ確認できた。



今年の産卵・孵化状況を確認のため、生育場所の掘り起こしを実施。(2:大池カブトムシ分校) 腐葉土が無くなり、産卵なし。



今年の産卵・孵化状況を確認のため、生育場所の掘り起こしを実施。(3:4月に作った親子生育観察場所 28匹確認)



(4:倉庫前今年のチップ置場の掘り起こしを実施。)70匹の孵化・3齢幼虫を確認。他の場所へ移動させた



合計 130 匹の幼虫が孵化して育っていることが確認できた。



古くなった腐葉土の中は白く固まったカーバイトの燃えカスのような土が…。要調査